

—学校教育目標—

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

(1)よく考えねばり強く学ぶ子

(2)心豊かで思いやりのある子

(3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第27号

仲井真っ子

H30年10月3日(水)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

表彰朝会（文化・スポーツ）！

3日（水）朝会にて、文化・スポーツ面で活躍した仲井真っ子を表彰しました。

【文化】『丸山七穂（まるやまなほ）さん』：2018年度ピティナ・ピアノコンペティションソロ部門「優秀賞」、デュオ部門「奨励賞」。『具志玲奈（ぐしれいな）さん』：那覇地区科学作品展「銀賞」。『當山陽向（とうやまひなた）さん』、『砂川凜夏（すながわりんな）さん』、『西浜 慶（にしはまけい）さん』、『玉城慧拓（たまきけいた）さん』、『奥間陽色（おくまひいろ）さん』、『仲本壮汰（なかもとそうた）さん』：校内科学作品展「金賞」。校内童話・お話大会表彰者は26号にて紹介しましたので割愛します。

【スポーツ】大城芽泉（おおしろめい）さん：「第8回夏季総合水泳競技大会」女子100m自由型及び平泳ぎ、200m個人メドレー「第2位」。「第37回タイムス杯クラブ対抗水泳競技大会」平泳ぎ100m、200m個人メドレー「第1位」、女子50m平泳ぎ「第2位」。

『女子バスケットボール部』：平成30年度那覇市スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会高学年の部「優勝」、低学年の部、男女共に「準優勝」。

『バレー部仲井真ミラクルズ』：第125回那覇市小学生バレーボール大会混合の部「3位」、第31回新報小学生バレーボール大会男子の部「3位」。あらためておめでとうございます。今後の活躍を期待しています。

お話朝会

「いいから いいから」

校長室にいと廊下を歩いている子どもたちの会話が聞こえてきます。耳をすますと、「男子と女子がケンカになった」とか、「〇〇さんが、おこっていたねえ」、「先生の説教が長かったね」。運動会が終わると、大体どの学校でもそんな感じになったりします。それで、表彰後の短い時間に、長谷川義史さん作の絵本「いいからいいから」の読み聞かせをすることにしました。本の読み聞かせは、子どもたちの心に魔法のように響いていくと考えています。絵本は自分だけの世界です。私たちは本を読みながら、「うん、そう。私もそう思う。」とか「なんでそんなことをするの。」などと、考えます。本を読みながら、本と対話しているのです。自分を振り返って見つめ直したり、何かアイディアをもらったりできます。さて、「いいからいいから」の本のあらすじです。突然やってきたカミナリの親子。にもかかわらず「いいからいいから」と、もてなすおじいちゃん。カミナリにおへそをとられても「いいからいいから」のおおらかさ。お話を聞いている仲井真っ子からは、笑い声が……。そして、表情は、やわらかに……。一心に聞き入っていました。つづきは、子どもに聞いてください。

最後に長谷川さんのメッセージを子どもたちに届けました。「おこってはいけない、だれかがおこるとだれかにでんせんしてだれかがまたおこる。それがまただれかにでんせんしてなーにもいいことない。せかい（なかいま小）をへいわにするほんきのあいことば『いいから いいから』。みんなで仲井真小をへいわにしましょうと、話を閉じました。